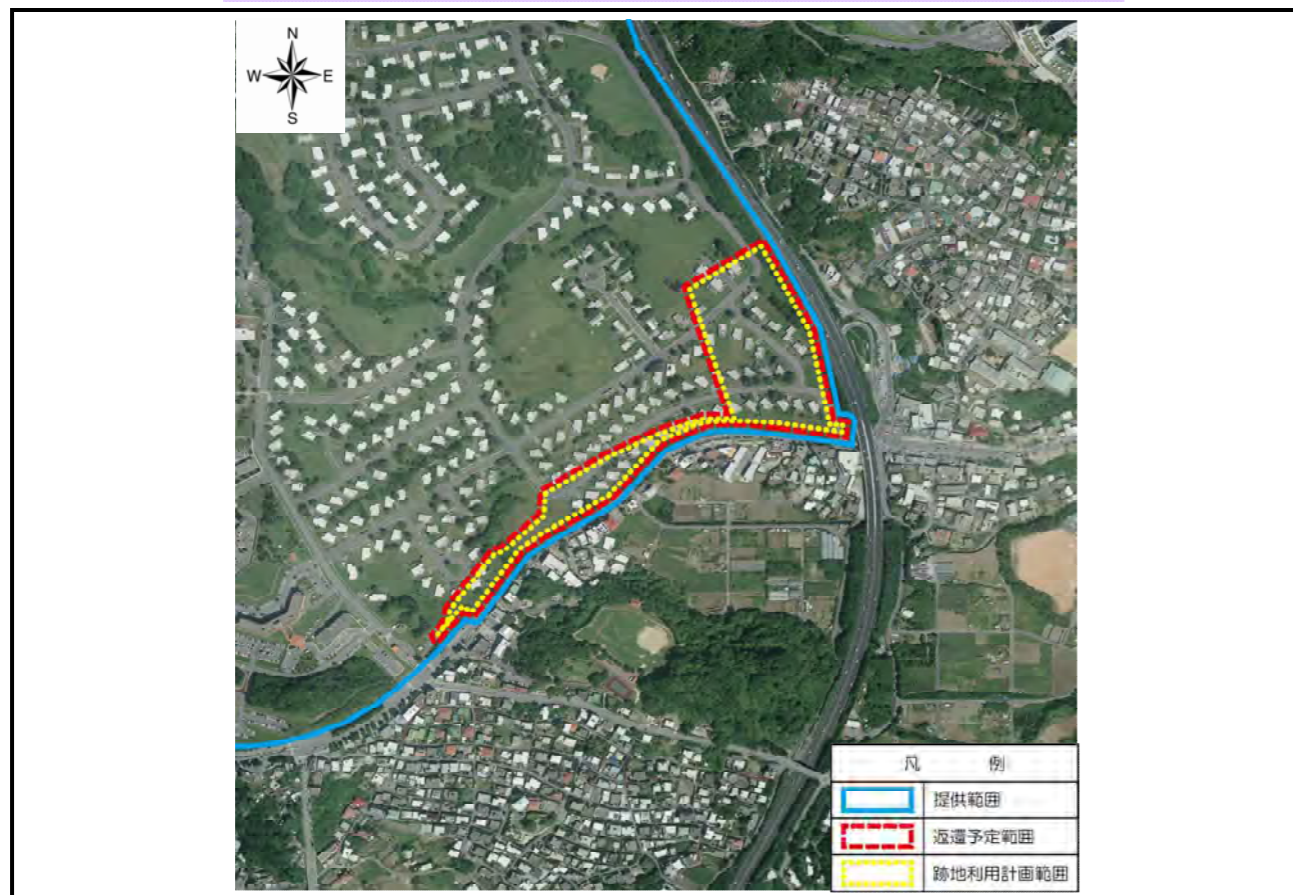
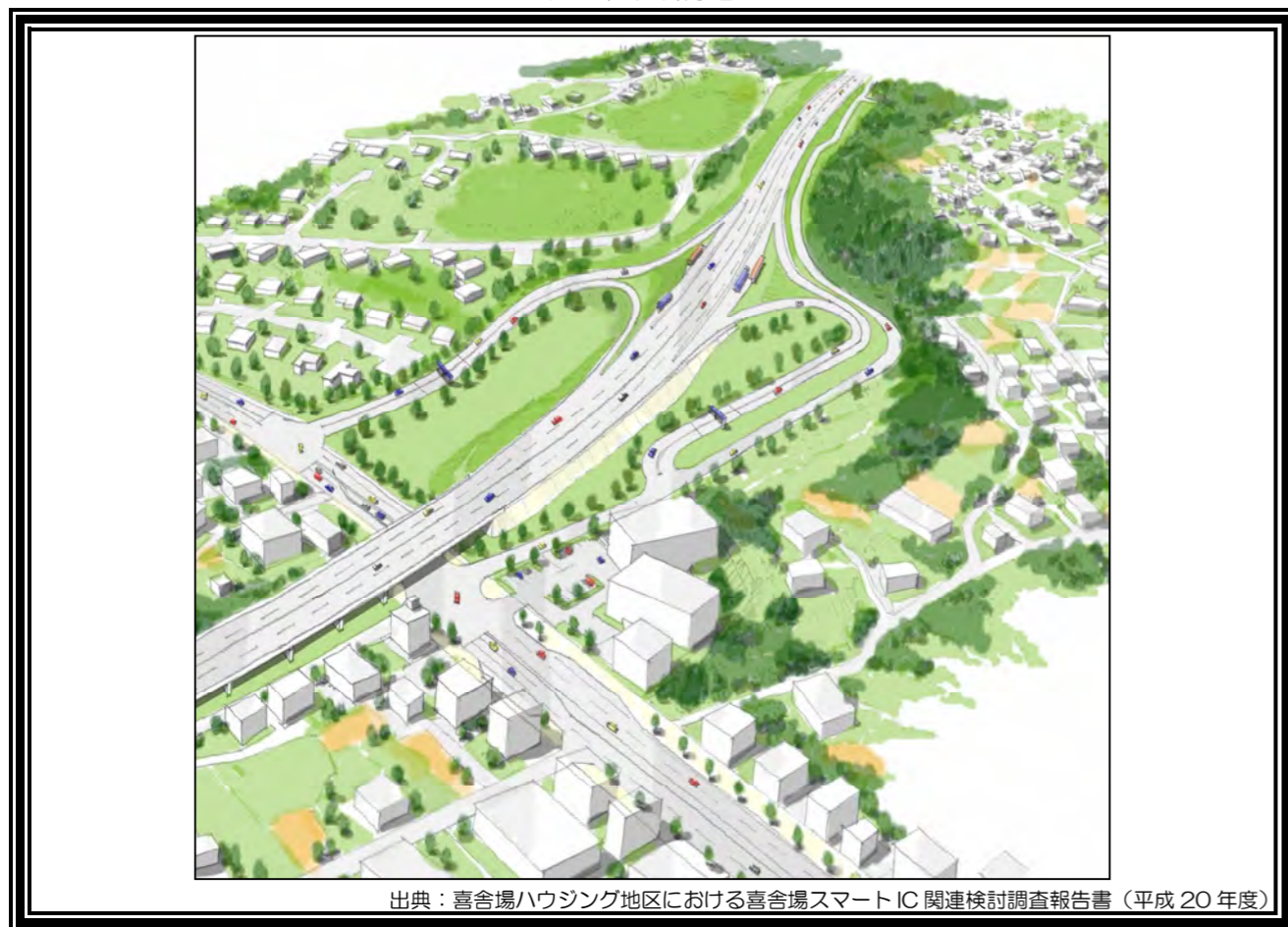


キャンプ瑞慶覧（喜舎場住宅地区）

返還合意施設



跡地利用構想図



出典：喜舎場ハウジング地区における喜舎場スマートIC関連検討調査報告書（平成20年度）

■返還合意施設の概要等

□ 概要			
面積	5.0ha		■内訳 面積は平成25年4月の統合計画の面積（現時点で詳細は不明で、返還区域は、SACO最終報告で合意された区域から修正されている。）
	国有地	不明	
	県有地		
	市町村有地		
民有地			
所在地	北中城村（字喜舎場、字安谷屋）		
位置及び土地の形状	位置：県道宜野湾北中城線沿いの細長い地区 土地の形状：全体的に緩やかな起伏を成す地域		
使用状況	管理軍：海兵隊（米軍住宅）		

□ 沿革	
昭20	●軍事占領の継続として使用開始。
昭47. 5. 15	●「キャンプ瑞慶覧」と「キャンプフォスター」が統合され、「キャンプ瑞慶覧」として提供施設・区域となる。
昭50. 6. 30	●施設管理権が陸軍から海兵隊に移管。
平8. 12. 2	●SACO最終報告において、「キャンプ桑江」内にある海軍病院が「キャンプ瑞慶覧」に移設することを合意。また、米軍住宅地区を統合し、これらの施設及び区域の住宅地区の土地を一部返還することを合意。
平18. 5. 1	●日米安全保障協議委員会（「2+2」）において、日米が平成19年3月までに作成する「統合のための詳細な計画」において、部分返還を検討することを合意。（再編実施のための日米のロードマップ）
平22. 5. 28	●日米安全保障協議委員会（「2+2」）で嘉手納以南の施設・区域の返還が、「再編実施のための日米のロードマップ」に従って着実に実施されることを確認。
平25. 4. 5	●日米両政府の共同発表「沖縄における在日米軍施設・区域に関する統合計画」において、返還時期及び区域等が公表。（2024年度又はその後）

□ 返還時期及び条件	
時期	●「統合計画」において、2024年度（日本国の平成36会計年度）又はその後。
条件	●「沖縄住宅統合（OHC）」の下での家族住宅（32戸）のキャンプ瑞慶覧（キャンプ・フォスター）内への移設。

■跡地利用に係る取組状況等

□ 跡地利用方針・計画	
●喜舎場スマートIC（現在、那覇方面向けのみのETC専用）のフルインター化を検討。 ※現行のスマートIC（1/4インター）が1日に平均約2,000台の利用があること、また、那覇側からは下りられないことから、フルインター化（4/4インター）への変更を検討。米軍側としてもフルインターになることで利便性が向上することになるが、現時点では米軍側との協議を特におこなっていない。 ※日米合意のマスタープランにおいて、フルインター化とは異なる返還範囲で計画されていることが判明した。	

□ 事業段階	
跡地利用計画（構想）策定段階	●アワセゴルフ場跡地の開発後に予想される交通渋滞の緩和を含む、全村的又は中部圏の広域的な交通渋滞の緩和を目的に、平成19年度からフルインター化に向けた調査を実施し、平成25年度以降は本格的な調査等を実施中。